

ザイリンクス(XLNX)

【セクター】 半導体製造

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

FPGAと呼ばれる種類の半導体の世界最大手です。FPGAはfield-programmable gate arrayの略で、計算ロジックが固まっている部分は回路に作り込み、変化する可能性のある部分を「プログラマブル」にして残したもので、汎用的な計算に用いられるCPUと特定の計算に用いられるASICの中間的な性質をもちます。FPGAの分野で世界トップシェアをもち、2位にインテル（買収したアルテラ）、3位にマイクロチップとなっています。地域別売上（20年3月期）は、アジア太平洋46%、北米29%、欧州17%、日本8%です。

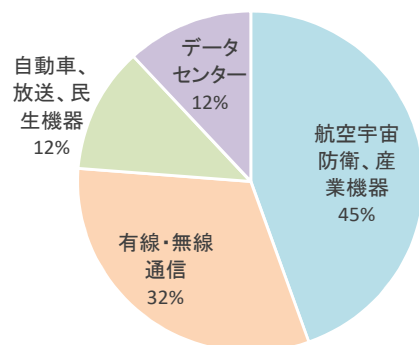
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
19年3月期	3,059	889	3.47	1.40	11.3	34.0	55.5
20年3月期	3,163	822	3.23	1.48	9.5	31.8	49.3
21年3月期予想	3,061	728	2.99	1.52	12.3	28.5	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

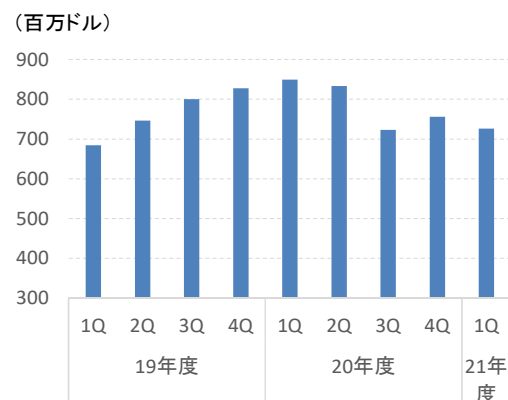
【主要指標】

図表1 分野別売上構成比（20年4-6月期）



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

図表2 四半期売上推移



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

5G（第5世代移動通信システム）、AI、IoT（モノのインターネット）、自動運転など新技術が普及するときにFPGAの需要は拡大すると考えられ、中長期の事業環境は良好とみられます。同社も10%台半ばの売上成長を長期的な目標としています。一方、足もとでは米政府の要請による中国の通信機器メーカーファーウェイに対する部品供給制限、米中貿易摩擦、5G向け半導体需要の低迷の影響を受けて売上は落ち込んでいます（図表2）。成長トレンドにいつ戻れるか不透明感もあり、会社は20年1月に従業員数7%の削減を発表しました。

【見通し・注目点】

20年4-6月期は、売上が前年同期比14%減、調整後純利益が同36%減でした。売上はデータセンター向けや通信向けが予想よりも強く、会社のガイダンスを上回りました。前年同期比で航空宇宙防衛、産業機器が2%減、自動車、放送、民生機器が29%減、有線・無線通信が33%減、データセンターが104%増です。7-9月期の売上ガイダンスは前年同期比12~6%減相当です。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 20/8/12）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。